

公益財団法人かめのり財団
講演会・シンポジウム

2013年度は、王敏理事(法政大学教授)の講演会を次のとおり行いました。

開催団体(場所)	日時	対象	演題	
愛媛県農業教育者連盟 総会	2013年 7月26日(金) 13:00 ~ 14:30	農業教育 に従事する 教職員 60名	<p>「なぜ中国で宮沢賢治が読まれているのか？—日中相互認識の通路へ—」 農業と関わりの深かった賢治について、作品との出会いや中国で賢治研究が活発化している現状を初めに紹介しました。読まれている理由として、現代の人々が賢治の作品に出てくる中国の古典に基づいた普遍性を求めていること、人間と自然の相関関係の再考や世界観と生命観への再考などを挙げました。また、作品を通して日本の風土文化に受け継がれた普遍性、東アジア共同体や環境意識と民間信仰について学びを得ることができるの話がありました。生命やそれに向き合うことの大切さ、自然と共生していくことの重要性についても強調し、それぞれの地域にあった相互学習と発展の構築が大切であると締めくくりました。聴講者からは、「農業教育にとって大切な話が聞けた」「日本の心、日本の農業教育の本質が理解でき、今、行っていることは間違っていないと確信した」との感想が寄せられました。</p>	 